

## 【ヨハネの黙示録第11章】

### 「死者の復活」

15日には私たちを愛し祈って下さった方の召天記念式が行われます。最近どんどん身近な方が天にあげられてゆきます。以前は人の死を悲しんでいましたが、救われた方にとって死は竹の節のようなもので、新しい始まりととらえ始めてから、悲しさがなくなりました。(救われてない方のためにはひたすら救いを祈ります！)もっと良い世界へ、もっと解放された安息の中に入られたことを感謝するようになりました。クリスチャンの死には希望があります。なぜなら、死は終わりではなく、罪を悔い改めて救われている人には、永遠のいのちが与えられ、例え肉体の体は死んでも、主と共に永遠に生き続けるからです。ハレルヤ！感謝します。

旧約時代に特別の使命を受けたモーセとエリヤ、あるいはモーセとアロンがパロに裁きを警告して悔い改めを迫った記事もありますが、この世の終わりにも、神様は2人の証人を任命して特別の力を与えて、彼らは預言します。預言し終わった後(患難時代前半の3年半...底知れぬ所から上って来る獣が、彼らと戦って勝ち、彼らを殺す。とあるように、預言が終わったらサタンによって殺されてしまいます。その死体を見ても誰も墓に納めることもせず、彼らが死んだのを喜ぶのですが、(彼らによって痛めつけられたからです。)しかし、「三日半の後、神から出たいのちの息が、彼らに入り、彼らが足で立ち上がったので、それを見ていた人々は非常に恐怖に襲われた。」とあります。神から出たいのちの息によって、強められ、死んでも生きかえるのです。それを見ていた人たちは恐怖に襲われます。

イエス様は十字架で全人類の罪を負われて死んでくださいましたが、3日目に復活されました。ラザロの復活や他の復活とは全く異なるものでした！！イエス様は死者の初穂として復活されたのです。

「み声に聞き従う」と言うことを教えられています、今後何が起ころうと、死者の復活という大なる希望を持っているのがクリスチャンです。地上の生涯はやがて終わりますが、「ちりはもとあった地に帰り、霊はこれを下さった神に帰る。」伝道12:7 私達の霊は永遠に神と共に生き続けるのです！！

白馬キャンプで信仰の告白がいかに大切であるかということを知り、既に受けたと信じる信仰によって、皆で起立して大きな声で告白をしました。「リバイバルがすでに来たことを感謝します。日本の児童養護施設はすでに出来上がったことを感謝します！！」更に信仰の告白を具体的にしてください。これから起こる神の裁きの前に、神様は私達が罪を悔い改めて神に立ち返ること。自分たちの計画ではなく、神のことばに聞き従って神のご計画の内を歩むことを導かれています。自分が成すべきこと、成さなければならない事を主のみ前にしっかりとらえてゆきましょう。

\* 皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意ください。  
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

## SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2014. 3. 9 No. 779

新年のみ言葉

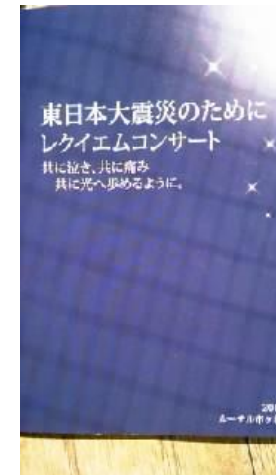
いつも主にあって喜びに満たされなさい。

もう一度言います。喜びなさい。

ペリピ書4章4節

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ3：16



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlcccfrh/>

